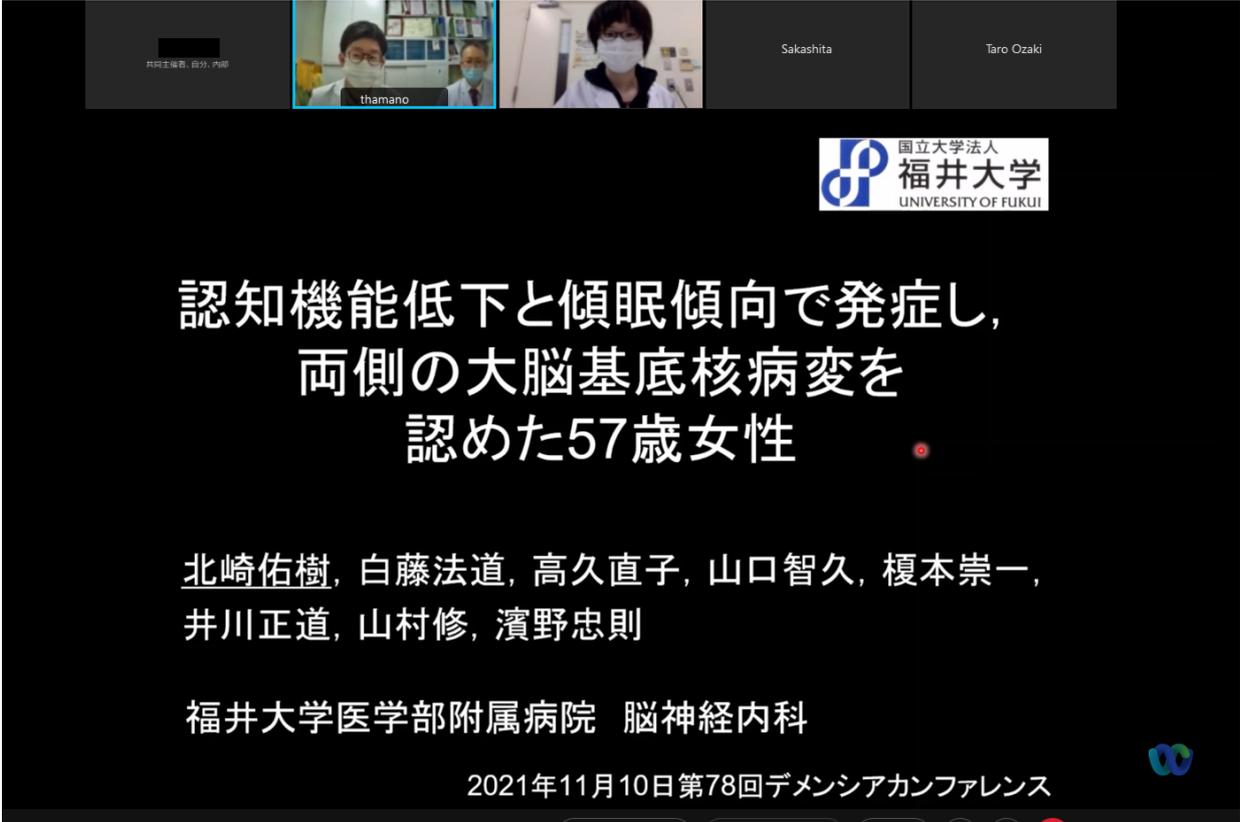


第78回デメンシアカンファレンスを開催

2021年11月10日

11月10日（水）に福井大学が担当する北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン（認プロ）「第78回デメンシアカンファレンス」をWeb上で開催しました。

「認知機能低下と傾眠傾向で発症し、両側の大脳基底核病変を認めた57歳女性」のタイトルで、福井大学からの症例報告が進められ、活発に質疑応答や意見交換が行われました。



井川正道, 白藤, 内部

thamano

Sakashita

Taro Ozaki

国立大学法人
福井大学
UNIVERSITY OF FUKUI

**認知機能低下と傾眠傾向で発症し、
両側の大脳基底核病変を
認めた57歳女性**

北崎佑樹, 白藤法道, 高久直子, 山口智久, 榎本崇一,
井川正道, 山村修, 濱野忠則

福井大学医学部附属病院 脳神経内科

2021年11月10日第78回デメンシアカンファレンス

第 78 回デメンシアカンファレンス報告要旨

『認知機能低下と傾眠傾向で発症し、両側の大脳基底核に病変を認めた 57 歳女性』

発表者：北崎 佑樹（福井大学医学部附属病院 脳神経内科）

司会：濱野 忠則（福井大学医学部附属病院 脳神経内科）

【要旨】症例は 57 歳の女性。認知機能低下・多発性関節痛により前医に入院。血液検査では CRP の上昇（8.3mg/dL）を認め、頭部 MRI で DWI が右尾状核の高信号を認め、T2WI で両側の大脳基底核が高信号であった。第二病日より発熱、傾眠、パーキンソニズム（四肢の静止時振戦と筋強剛）を呈した。¹⁸F-FDG-PET/CT で両基底核病変部が集積亢進し、DAT-SPECT で大脳基底核での取り込み低下を認めた。¹²³I-MIBG 心筋シンチグラフィでは集積低下なく、前医では初期治療として PSL 15mg/日、L-dopa/DCI 100mg/日が開始されたが傾眠、無気力、パーキンソニズムは増悪し、傾眠から昏睡に移行したため第 66 病日に当院に紹介となった。神経学的所見では、意識障害（GCS 7）、パーキンソニズム（右上下肢の筋強剛）が認められた。神経細胞表面抗原抗体（NMDAR, AMPAR, GABA_AR, GABA_BR, mGluR, DPPX, IgLON5, LGI1, CASPR2）は血清・脳脊髄液でともに陰性であり、抗神経抗体では immunoblot 法（BML 社）で血清抗 Recoverin 抗体が強陽性（3+）であった。その他の抗神経抗体（amphiphysin, CV2/CRMP-5, PNMA2 (Ma2/Ta), Ri, Yo, Hu, SOX1, titin, zic4, Tr (DNER)) は陰性であった。臨床経過・画像所見より自己免疫性基底核脳炎と診断し、免疫治療として第 70 病日に大量免疫グロブリン静注療法を 0.4mg/kg/日で開始し、神経症状および精神症状の改善を得た。そのため認知機能低下や精神症状の原因として脳炎による意識変容が背景に存在したと結論づけた。亜急性に進行する認知機能低下・傾眠傾向を認め、両側基底核の病変を認めた症例においては発症から時間が経過していても、免疫グロブリン大量静注療法を考慮すべきである。

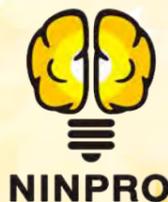
【質問・意見】

質問：認知機能低下症の原因としては、自己免疫性基底核脳炎が影響しているか。

回答：入院前の自宅での様子は無意欲・反応遅延が主であり、短期記憶障害などの出現は認めなかった。そのため認知機能低下の原因としては自己免疫性基底核脳炎が影響していると考えられる。

質問：抗 Recoverin 抗体が自己免疫性基底核脳炎に影響するメカニズムについて。

回答：血液脳関門を經由して CNS に到達した抗 Recoverin 抗体は、中枢神経系で交差反応を示す可能性が指摘されている。中枢神経系では、基底核の Hippocalcin に対して抗 Recoverin 抗体が交差反応し、自己免疫性基底核脳炎を発症した可能性がある。



北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン(認プロ)

第78回デメンシアカンファレンス(Web)

2021年11月10日(水)18:30~

『認知機能低下と傾眠傾向で発症し、
両側の大脳基底核に病変を認めた57歳女性』

発表者:福井大学医学部脳神経内科 北崎 佑樹

担当:福井大学

対象:認プロ参加施設及びその他の施設の
医療関係者(医療系大学の学生含む)

【参加方法】

個人のパソコンからWeb会議システム(WebEX)を使用

・教育コース履修者、メディカルスタッフe-learning講座の登録者、認プロ参加施設の各委員・事務担当者には、事前に北陸認プロ運営事務局からメールで参加案内をお送りします。案内状のメールに従って会議にご参加下さい。

・教育コース履修者の出席はオンライン画面にて北陸認プロ運営事務局が確認します。

・上記以外で参加を希望される方は11月9日までに氏名とメールアドレスを北陸認プロ運営事務局までお知らせください。

(ninpro@adm.kanazawa-u.ac.jp)

【お問い合わせ先】

北陸認プロ運営事務局 〒920-8640 金沢市宝町13番1号

TEL:076-265-2149 FAX:076-234-4208 E-mail:ninpro@adm.kanazawa-u.ac.jp URL:<http://ninpro.jp/>